

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330422110	体育科学研究 Study of Physical Education	加藤 彰浩			1	必修	2後期

科目の概要

本科目は四大精神の実践を通し（DP1）、社会的に自立して生きていく上で必要な小学校教諭に関する専門的な知識・技能を身に付け（DP3）、建学の精神をはじめ、社会人基礎力やpisa型学力を習得する（DP5）

。小学校体育科では「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成すること」（文部科学省）を目標に行われる。それらの目標を達成するため、体育科では、ただ単純に運動内容を準備して授業を行えば良い訳ではなく、児童が主体的に対話的に活動をする中で、意欲を持って運動や健康に取り組む教材を準備し、授業を行わなければならない。
この授業では、小学校体育の目標を達成するための教材作りについて考え、実践を通して、効果的な学習を導く授業づくりについて学ぶ。

学修内容	到達目標
① 体育科における教材づくりの基本的視点について学ぶ。 ② 良い体育授業の観点について学ぶ。 ③ 各運動領域の授業づくりのポイントについて学ぶ。	① 体育科における教材づくりの基本的視点について理解することが出来る。 ② 良い体育授業の観点について理解することが出来る。 ③ 各運動領域の授業づくりのポイントを理解することが出来る。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	毎回の運動領域に関する方法や技術について、事前に資料をもとに調べてくる。睡眠、食事等生活リズムを整え、自ら積極的に授業に参加する。
	働きかけ力	
	実行力	毎回の運動領域に関する方法や技術について、事前に資料以外をもとに調べてくる。未経験なことや不得意なことに対し、積極的に取り組み、試行錯誤の過程を経ながら取り組むことが出来る。
考え抜く力	課題発見力	様々なことへ取り組む過程において、各運動領域のポイントや留意点、支援方法について積極的に考え、気づく事が出来る。
	計画力	
	創造力	各運動領域の要点やポイントから、実際の支援・教育場面を想定して、考えることが出来る。
チームで働く力	発信力	授業における疑問や新たな視点に対して積極的に発言し、疑問を解決する。
	傾聴力	他者の考えや意見を聞き、様々な考えや意見があることを理解する。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	毎回の提出物を期日までに提出する。時間やルールを守り、他の学習者に迷惑をかけないように授業に参加する事が出来る。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「初等体育授業づくり入門」岩田靖ほか（大修館書店）
参考文献：「新版 体育科教育学入門」高橋健夫ほか（大修館書店）
「小学校学習指導要領（平成29年版）解説」文部科学省
その他：映像等はGoogle Classroomを通じて行う。

他科目との関連、資格との関連

本授業は、卒業必修科目であり、学科専門科目の小学校領域の教科および教科の指導法に関する科目に属しており、小学校の教科教育である体育の内容を学び、「体育科教育学」で指導方法を学ぶための基礎的な科目である。
関連資格：小学校教諭

学修上の助言	受講生とのルール
常に将来教壇に立つ立場になって考えながら授業を受けることにより、教育者になった時に役に立つ子どものつまづきや効果的な支援方法を学ぶ事が出来る。 定期試験は授業で学んだことを中心に出題する。知識の定着にはNotebookLMを活用することで学修が促進されるため、活用すると良い。	運動を行うのに危険ではない服装、爪、頭髪、アクセサリで受講し、授業に遅刻しない等社会人として相応しい振る舞いをする事。 積極的に授業に参加し、ディスカッションに参加すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校体育における教材・授業づくりの要点について、正しく理解しているかを評価する。 ・小学校の運動領域の内容及び指導上の留意点について、正しく理解しているかを評価する。 【知識の獲得】 小学校体育における授業や各領域の内容：60% 【知識の活用】 小学校体育における授業実践での活用：30% 【知識の解決】 小学校体育における授業実践をより良くする方法：10% 	
				②	✓		
				③	✓		
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・各運動領域の教材について、内容を理解しつつ、具体的に考えられているかを評価する。 ・提示する授業プリントを提出し、内容を評価する。 ・未提出は0点とする。 【知識の獲得】 小学校体育における授業や各領域の内容：30% 【知識の活用】 小学校体育における授業実践を想定した方法の思考：30% 【知識の解決】 小学校体育における授業実践をより良くする方法の提案：40%
					②	✓	
③					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①				
			②				
			③				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> (主体性) ・提示された資料をもとに、事前に各内容に関する知識を調べて記入すること。 ・苦手なことにも自ら積極的に取り組むこと。 (実行力) ・提示された資料以外をもとに、事前に各内容に関する知識を調べて記入すること。 ・各運動領域を理解し、積極的に考えること。 (課題発見力) ・各運動領域のポイントや留意点、支援方法に気づき、活動すること。 (創造力) ・実際の教育・支援場面を想定し、活動に臨むこと。 (発信力) ・自分の疑問や考えをまとめ、発言すること。 (傾聴力) ・授業において他者の意見を踏まえ、考えること。 (規律性) ・提出物は期日までに提出すること。 ・忘れ物をせず、子どもを教える立場として相応しい身だしなみで受講すること。 	
				②	✓		
				③	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S: 体育科教育の要点を理解し、各運動領域における教材について具体的に考えることが出来ること。</p> <p>A: 体育科教育の要点をある程度理解し、各運動領域における教材について具体的に考えることが出来ること。</p>	<p>B: 体育科教育の要点をある程度理解し、各運動領域における教材についてある程度具体的に考えることが出来ること。</p> <p>C: 体育科教育の要点をある程度理解し、各運動領域における教材について抽象的であるが考えることが出来ること。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	○「小学校における体育」について学ぶ	講義（教室）	小学校における体育の役割について理解している。	（予習）小学校における体育の役割について、テキストp. 5-21を読んでくる。 （復習）小学校における体育の役割についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	○「体育における授業・教材づくり」について学ぶ	講義（教室） 動画視聴：（オープンエディケーション）独立行政法人 教職員支援機構「小学校学習指導要領 体育科の改訂のポイント：新学習指導要領編 No15」 https://www.nits.go.jp/materials/youryou/015.html	体育の授業・教材づくりの要点について理解している。	（予習）体育の授業・教材づくりについて、テキストp. 24-55を読んでくる。 （復習）体育の授業・教材づくりの要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	○「良い体育授業」について学ぶ	講義（教室）	良い体育授業の要点について理解している。	（予習）良い体育授業について、テキストp. 66-80を読んで要点を読んでくる。 （復習）良い体育授業の要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	○「体づくり運動系領域の教材」について学ぶ	講義（教室）	体づくり運動系領域の教材の要点について理解している。	（予習）体づくり運動系領域の教材について、テキストp. 94-101を読んでくる。 （復習）体づくり運動系領域の教材づくりの要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	「体づくり運動系領域の教材」を考える	演習（幼児体育室） グループワーク	体づくり運動系領域の教材を考えることができる。	（予習）体づくり運動系領域の教材について調べる。 （復習）体づくり運動系領域の教材づくりの要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	○「器械運動系運動領域の教材」について学ぶ	講義（教室）	器械運動系領域の教材の要点について理解している。	（予習）器械運動系領域の教材について、テキストp. 102-109を読んでくる。 （復習）器械運動系領域の教材づくりの要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	○「器械運動系領域の教材」を考える	演習（幼児体育室） グループワーク	器械運動系領域の教材を考えることができる。	（予習）器械運動系領域の教材について調べてくる。 （復習）器械運動系領域の教材づくりの要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	○「陸上運動系運動領域の教材」について学ぶ	講義（教室）	陸上運動系領域の教材の要点について理解している。	（予習）陸上運動系領域の教材について、テキストp. 110-117を読んでくる。 （復習）陸上運動系領域の教材づくりの要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	○「陸上運動系領域の教材」を考える 「短距離走」	演習（体育館） グループワーク	陸上運動系領域の教材を考えることができる。	（予習）陸上運動系領域の教材について調べる。 （復習）陸上運動系領域の教材づくりの要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	○「陸上運動系領域の教材」を考える 「リレー」	演習（体育館） ペアワーク	陸上運動系領域の教材を考えることができる。	（予習）陸上運動系領域の教材について調べる。 （復習）陸上運動系領域の教材づくりの要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	○「水泳運動系領域の教材」について学ぶ	講義（教室）	水泳運動系領域の教材の要点について理解している。	（予習）水泳運動系領域の教材について、テキストp. 118-125を読んできると。 （復習）水泳運動系領域の教材づくりの要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	○「ボール運動系領域の教材」について学ぶ	講義（教室） グループワーク	ボール運動系領域の教材の要点について理解している。	（予習）ボール運動系領域の教材について、テキストp. 126-133を読んできると。 （復習）ボール運動系領域の教材づくりの要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	○「ボール運動系領域の教材」を考える	演習（体育館）	ボール運動系領域の教材を考えることができる。	（予習）ボール運動系領域の教材について調べる。 （復習）ボール運動系領域の教材づくりの要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	○「表現運動系領域の教材」について学ぶ	講義（教室）	表現運動系領域の教材の要点について理解している。	（予習）表現運動系領域の教材について、テキストp. 134-140を読んできると。 （復習）表現運動系領域の教材づくりの要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	○授業の振り返り	講義（教室）	これまでの授業についてを考えることができる。	（予習）これまでの授業のプリントを熟読する。 （復習）これまでの授業の要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力